

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	大和電機工業株式会社					
代表者名	氏名	原 房利	役職名	代表取締役会長兼社長		
主たる事務所の所在地	下諏訪町東四王5197					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	2 4 金属製品製造業				
主たる事業の概要	電気めっき業（表面処理鋼材製造業を除く）					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	3,892	3,702	3,960	3,835	3,767
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	8,300	7,894	8,451	8,203	8,049
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	41		40	41	41
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	137				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度
------	----------

計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
------	--------------------

報告対象年度	平成 31 年度
--------	----------

3 計画書（報告書）の公表方法等

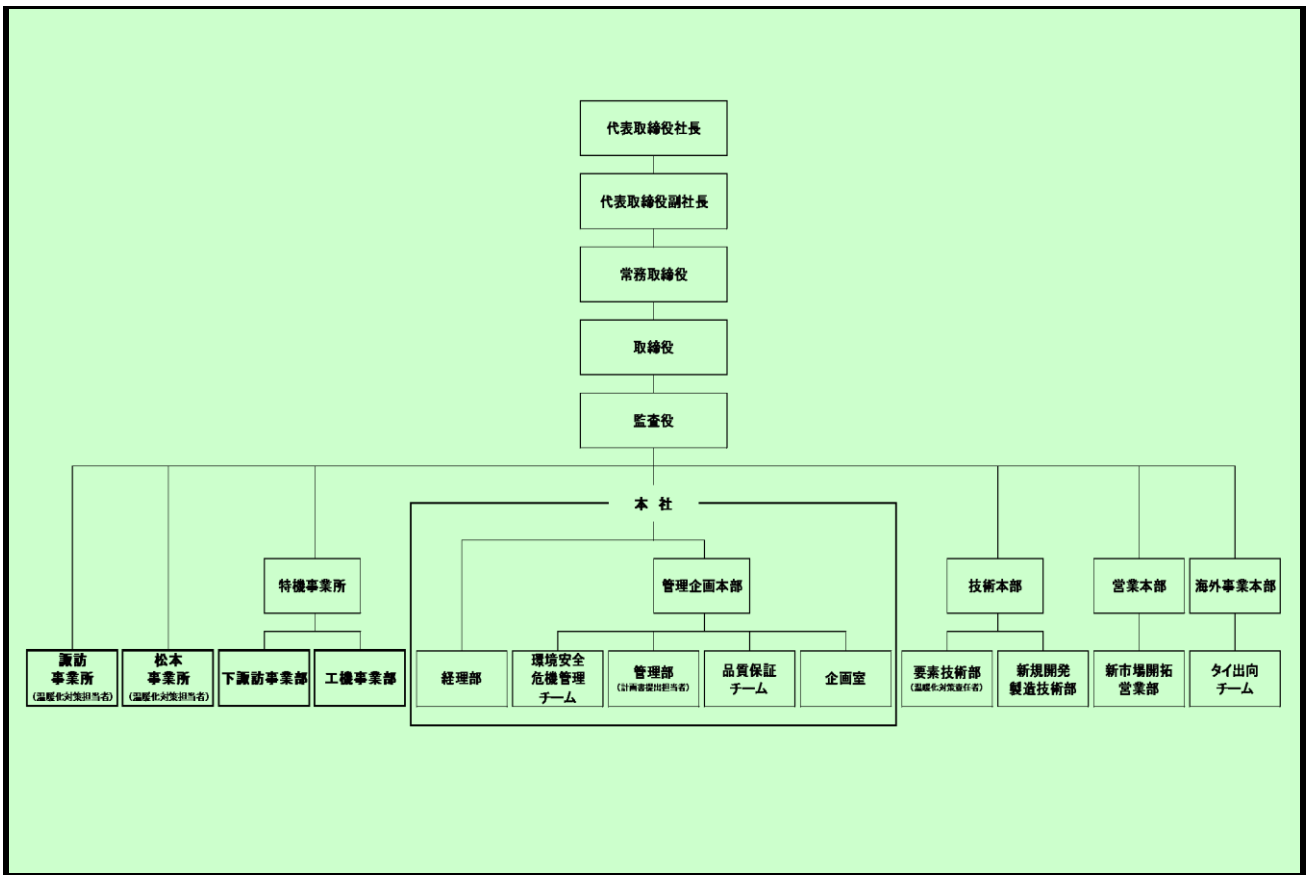
<input type="checkbox"/>	ホームページ	本社 財務管理本部管理部（下諏訪町東四王5197 TEL：0266-27-7379） 月～金 8:20～17:00
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

エコアクション21に基づく環境目標を定め、進捗管理を行う。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

MS定例会 1回/月
標準化委員会 1回/月
エネルギー管理定例会議 1回/3ヶ月

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	8,300	t-CO ₂	稼働時間	177.139	単位	千時間	
28 年度	調整後排出量	8,257	t-CO ₂	基準原単位	46.86	t-CO ₂ /	千時間	
目標年度	目標排出量	7,894	t-CO ₂	目標原単位	44.56	t-CO ₂ /	千時間	寄与度の合計から求めた目標削減率※
31 年度	目標削減率	4.89	%	目標削減率	4.90	%		
目標設定に関する説明	3年間で4.89%の削減を達成するとともに、ピークカットの取組を進めていく。売上額の減少幅の拡大等の影響により「売上高」での適正なエネルギー消費原単位の算出及び評価が困難であるため、指標を「稼働時間」に変更。(省エネ法の計画及び報告と同様。)							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	8,451	t-CO ₂	稼働時間	186.45	単位	千時間	
	調整後排出量	8,397	t-CO ₂	原単位	45.33	t-CO ₂ /	千時間	寄与度の合計から求めた実績削減率※
29 年度	削減率	(1.82)	%	削減率	3.26	%		
排出量等の増減理由	松本事業所の量産稼働時間増加により排出量が増加したが原単位は低下となった。諏訪事業所では受注減により量産稼働時間が低下となった上、待機時のエネルギー使用もあり原単位が増加した。							
第二年度	排出量	8,203	t-CO ₂	稼働時間	159.72	単位	千時間	
	調整後排出量	8,161	t-CO ₂	原単位	51.36	t-CO ₂ /	千時間	寄与度の合計から求めた実績削減率※
30 年度	削減率	1.16	%	削減率	(9.61)	%		
排出量等の増減理由	松本事業所の量産稼働時間が受注減により減少のうえ、増設した工場で試作稼働が行われた為使用エネルギーが増加してしまい、結果として原単位が増加となった。							
第三年度	排出量	8,049	t-CO ₂	稼働時間	159.21	単位	千時間	
	調整後排出量	7,997	t-CO ₂	原単位	50.56	t-CO ₂ /	千時間	寄与度の合計から求めた実績削減率※
31 年度	削減率	3.02	%	削減率	(7.90)	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	松本事業所の量産稼働時間が受注減により減少したため、結果として原単位が増加となった。							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	137	t-CO ₂			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	310200 主要設備の保全管理	29-31	8	29, 30	2.5
2	エネ起	320104 燃焼設備の保全管理	29-31	5	29, 30	3.5
3	エネ起	320204 加熱等設備の効率管理	29-31	8	31	2
4	エネ起	330202 空気調和設備の効率管理	29-31	5	30	3.5
5	エネ起	330203 クリーンルームの空気調和管理	29-31	6	29, 30	2.5
6	エネ起	330207 換気設備の運転管理	29-31	6	31	2
7	エネ起	360705 ホンプ, ファン, プロア, コンプレッサ等の保全管理	29-31	8	29, 30	2.5
8	エネ起	380751 電子回路式安定器及び高周波点灯方式の蛍光ランプ等の導入	29-31	2		
9	エネ起	380752 LEDの導入	29-31	6	29, 30	3.5
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	43		54	42	52
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	2	7,809	2	7,963	2	7,743	2	7,625
1,500k1未満	3	491	3	488	3	460	3	424
合計	5	8,300	5	8,451	5	8,203	5	8,049

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
NF ₃	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	14	14	15	15
合計	14	14	15	15
自動車総数	41	40	41	41
次世代車導入割合	34.1	35	36.6	36.6

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	なし
その他	なし

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	ノーマイカー通勤による削減量把握 (2019年度実績: 1.39t-CO2) 週1回、ノーマイカー通勤 (通勤距離が5km以下の社員) と乗り合わせ通勤を促している
公共交通機関の利用促進	なし
来客者の交通対策	該当せず
物流の合理化	なし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001	2000年
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	廃棄物の削減、水使用量の削減、事業所敷地への植栽
第一年度実績	廃棄物の削減、水使用量の削減、事業所敷地への植栽
第二年度実績	廃棄物の削減、水使用量の削減、事業所敷地への植栽
第三年度実績	廃棄物の削減、水使用量の削減、事業所敷地への植栽

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量 (tCO ₂)
基準年度以前の取組み	蒸気配管系の断熱強化、空調調和機設備の効率管理、クリーンルームの空気調和管理、LEDの導入 等	14t-CO2
その他	アイドリングストップによる削減量把握 (2019年度実績: 2.01t-CO2) 相乗り乗車による削減量把握 (2019年度実績: 21.42t-CO2)	23.43t-CO2